

川越市土地開発公社経営健全化計画に基づく取組状況（令和3年度）

○法人名

川越市土地開発公社（以下「公社」といいます。）

○経営健全化計画を策定した理由

平成29年度決算において、本市が公社に対して行う債務保証の標準財政規模に対する比率が、本市の「実質赤字の早期健全化基準の水準」（11.25%）を上回ったことから、平成31年3月に「川越市土地開発公社経営健全化計画」（以下「経営健全化計画」といいます。）を策定しました。

なお、経営健全化計画は、平成30年2月の総務省自治財政局公営企業課長通知の「第三セクター等の経営健全化方針の策定について」により策定が要請されている「経営健全化方針」としての位置付けを併せ持っています。

○財政的リスクの状況

	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	…	目標達成年度 令和5年度
損失補償、債務保証及び短期貸付額の合計額（A）	7,436,500千円	7,681,400千円	7,535,000千円	…	—
標準財政規模（B）	64,006,993千円	65,885,027千円	69,162,366千円	…	—
（A）／（B）	11.62%	11.66%	10.89%	…	—
実質赤字の早期健全化基準の水準	11.25%	11.25%	11.25%	…	11.25%

（参考）

	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	…	目標達成年度 令和5年度
公社保有の土地簿価総額（C）	8,371,225千円	8,395,066千円	8,471,315千円	…	7,005,104千円
標準財政規模（B）	64,006,993千円	65,885,027千円	69,162,366千円	…	63,722,760千円
（C）／（B）	13.08%	12.74%	12.25%	…	10.99%

○主な取組状況

- ・健全化計画に基づき、令和元年度から令和5年度までを計画期間として公社の保有する土地の段階的な低減を図っています。令和3年度は、158,889千円の

公有地の取得に対し、82,640千円の公有地を処分しています。

- ・ 公社の借入金に係る利子補給（補助）を継続し、公社保有土地の簿価上昇の抑制を図っています。
- ・ 事業資金の調達に当たっては、借入利率の照会（入札）を継続することにより借入金利の抑制に努めています。

○法人の財務状況 （貸借対照表から）

	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算
資産合計	8,528,331千円	8,672,226千円	8,664,303千円
（うち現金及び預金）	157,104千円	277,160千円	192,988千円
（うち公有用地）	6,326,800千円	6,350,640千円	6,426,889千円
（うち代行用地）	2,044,426千円	2,044,426千円	2,044,426千円
（うち未収収益）	2千円	1千円	0千円
負債合計	7,563,405千円	7,700,414千円	7,678,691千円
（うち当該地方公共団体からの借入金）	0千円	0千円	0千円
資本合計	964,926千円	971,812千円	985,612千円

※ 金額は、表示単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

（損益計算書から）

	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算
事業収益（A）	845,086千円	123,647千円	99,651千円
事業原価（B）	818,126千円	113,636千円	82,640千円
販売費及び一般管理費（C）	5,566千円	4,069千円	4,158千円
事業利益（D = A - B - C）	21,394千円	5,942千円	12,853千円
事業外収益（E）	28,104千円	25,489千円	32,582千円
事業外費用（F）	27,147千円	24,545千円	31,635千円
事業外利益（G = E - F）	958千円	944千円	947千円
当期純利益（D + G）	22,352千円	6,886千円	13,800千円

※ 金額は、表示単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。